



磯路小学校



磯路小学校は、昭和12(1937)年に磯路尋常高等小学校として、現在の港区民センターのある地に誕生しました。地下鉄が地上を通ることになったため、昭和33(1958)年に現在の場所に移転しました。平成19(2007)年には創立70周年を迎えています。



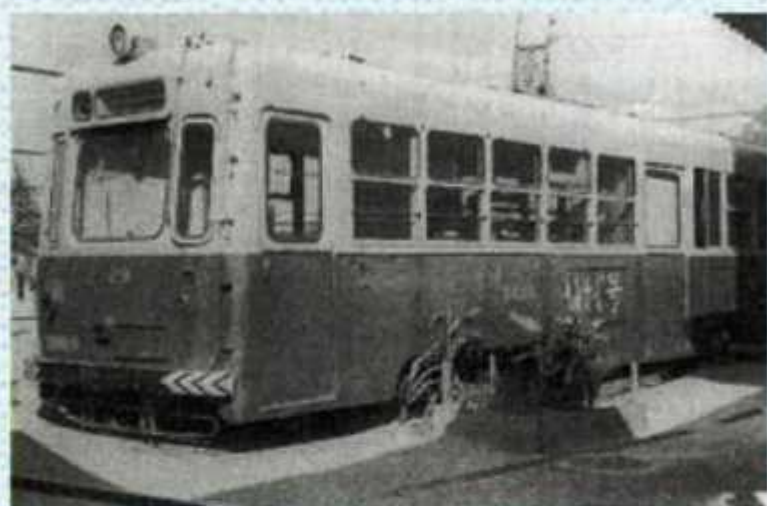
昭和33年新校舍落成展覧会(「いそじ大阪市立磯路小学校創立50周年記念誌」より)



北中美夕紀さん

今回は、昭和49(1974)年に磯路小学校を卒業し、今も小学校のそばにお住まいの北中美夕紀さんに小学校時代のお話をうかがいました。北中さんのお子さんも磯路小学校卒業生です。

「小学校のことで一番覚えているのは校庭の脇に市電の図書室があったことです。校庭から靴で入ったので床がいつも砂まみれでした。市電の中はいつもひんやり涼しくて居心地がよく、休み時間中、かくれんぼに使ったり、みんなのいこいの場になっていました。



昭和44年市電「いそじ号」設置
(「PTA新聞磯路」平成9年12月22日号より)

あの頃はみんな外遊びを活発にしていました。休み時間になると外にとび出して男の子は野球、女の子はゴムダンなどいろんな遊びをしました。男子も女子も冬は特に縄跳びが盛んで、上手な子は、三重跳び、後ろ三重跳び、三重エックス跳びなどいろいろな跳び方ができました。高校の体育の時間に縄跳びをしたとき、小学校時代はでき

なかった三重跳びができるようになっていました。ほかの人は跳べないのを知り、縄跳びは「磯路小学校ならではの遊びだったのだと思いました。以前は全校生徒が集まると校庭いっぱいになりましたが、今は児童の数が減っています。私が1年生のときは1学年5クラス、2年生のときに弁天小学校ができて分かれたので3クラスになりました。今は1学年2クラスになって、1クラスの人数も減っています。昔は同じクラスの子とばかり遊んでいましたが、今では学年をこえた「たてわり班」で遠足やゲームをする催しなどがあり、学年に関係なく遊んでいるようです。」